

土用の丑の日 なに食べる？

土用の丑の日といえば

もうすぐ土用の丑の日(どようの うしのひ)、今年は7月19日、31日と、2回も丑の日があるとのこと。

この日に食べるものといえばやはりウナギ! 古くから土用の丑の日に「う」のつくものを食べると夏負けしないという考え方があり、うなぎを食べる風習も江戸時代後期にはすでに見られるようです。由来には諸説あり、平賀源内がうなぎ屋に丑の日の張り紙を勧めたという話もありますが、これはあくまで一説とされています。

「ウ」のつく食材 ウチダザリガニ!

そんなうなぎですが、近年ではその消費が問題視されています。一般的に利用されるニホンウナギは数が激減しており、絶滅危惧種※に指定され、国際的にも保護の対象とされています。価格の高騰もあり、気軽に食べられる存在ではなくなってきていますね。

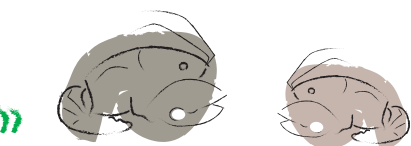
そこで注目されるのが、ほかの「う」のつく食材の存在。ウシ、うどん、梅干し等様々ですが、今回ご紹介するのは「ウチダザリガニ」というザリガニです。

ザリガニなんて食べられるの?と思うかもしれませんが、ウチダザリガニは北米や欧州では食材として親しまれています。日本でも1926年から1930年にかけて食用として持ち込まれました。実際に食べてみると、体の大きさの割に身は少ないですが、かなり味が濃厚で、カニにも似た風味があります。

ザリガニの脅威

しかし、ウチダザリガニには食材としての魅力とは別に、もうひとつの側面があります。それは生態系に及ぼす深刻な影響です。彼らは北米から持ち込まれた外来種で、強い繁殖力と雑食性をもち、小型の水生生物を食べてしまうなど、水辺の環境に大きな影響を与えてしまいます。

こうした背景があり、ウチダザリガニは2006年に特定外来生物に指定されました。これにより、許可なく生きたままの飼育・運搬・保管などが法律で禁止され、違反すれば罰則の対象となります。つまり、後で食べるためだとしても生きたまま移動したり、泥抜きのため飼育したりすることは違法行為にあたるのです。



参考

吉海 直人「土用の丑の日」.同志社女子大学 教員によるコラム.2018-7-18
丸山淳一「ウナギ絶滅?万葉歌人と江戸の発明家が勧めたワケ」.読売新聞オンライン.2019-7-24



ウチダザリガニ
Pacifastacus leniusculus trowbridgii



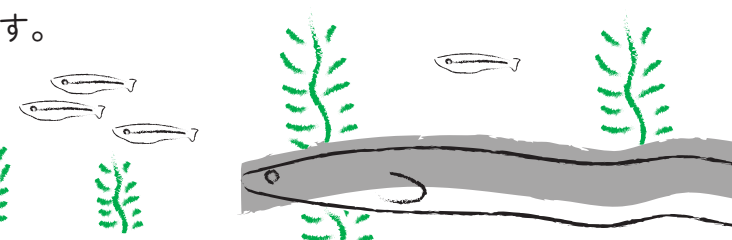
塩ゆで

外来生物にご用心

ウチダザリガニのように、人にとって有用とされる外来生物にも、思わぬリスクが潜んでいます。知らずに持ち帰ったり、放流したりすることで、生態系を脅かす原因になってしまうのです。

裏磐梯でも、桧原湖や秋元湖をはじめとして多くの湖沼にウチダザリガニが侵入しており、在来水生生物や環境への影響が心配されています。

外来生物との関わり方には、正しい知識と慎重な判断が求められます。土用丑の日にウチダザリガニを食べてみたいという方は、まずは様々な場所で行われている駆除イベントや体験ツアーに参加し、正しい知識を持ったガイドさんと一緒にザリガニ捕獲に挑戦してみてください。そして丑の日に限らず、継続的なザリガニ捕獲と駆除にもチャレンジしてみてください。きっとそれは生態系を元に戻す事に繋がり、いいニホンウナギ守ること、そして土用丑の日にウナギを食べるという文化を守ることにも繋がるはずです。



自然解説員の巡視日記

磐梯山点検登山に参加しました(裏磐梯登山口)

例年5月の第4週に開催される磐梯山の山開きですが、今年は大量に積もった雪の影響で、6月15日に延期となりました。

山開きに先立ち、関係町村や山岳会、消防・警察などの関係者によって登山道の整備が行われる「点検登山」が実施されます。裏磐梯ビジターセンターのスタッフも、この点検登山に参加してきました。

点検登山では、雪の影響で破損した木道の修復や、登山者が斜面から落ちないようにロープを張る作業、緊急時に鳴るサイレンが聞こえるかの確認など、さまざまな整備作業を行います。

普段は何気なく登っている山も、こうした人々の手によって安全が守られているのだと改めて感じ、ありがたさを実感します。

弘法清水までは全員で登りましたが、下山はチームに分かれてそれぞれのルートを進みます。私たちは、火口壁から反時計回りに進み、裏磐梯スキー場へと下っていきました。

火口壁周辺では、例年の点検登山では時期が早くて見られなかったバンダイクワガタを観察することができたほか、花びらが透けて見えるサンカヨウや、わずかに残っていたミツガシワの花など、さまざまな植物を観察できました。

残雪の影響で山開きは遅れてしまいましたが、植物たちは変わらず元気にその姿を見せてくれています。



バンダイクワガタ



ミツガシワ
Menyanthes trifoliata



ようこそビジターセンターへ

展示紹介 — 企画展示室 —

裏磐梯ビジターセンターの企画展示室では、磐梯朝日国立公園にちなんだ展示を行っています。パークボランティアの手づくりの展示や、外部施設とのコラボ企画など内容はさまざま。展示は1~2カ月ごとに入れ替わるので、来るたびに違った楽しみがあります。

今回は写真家・中村征夫さんの写真展を7/21~予定しています。詳細は裏面のお知らせ欄をご覧ください! いつ来ても新しい発見がある展示室へ、ぜひお立ち寄りください。



企画展示室
磐梯山ジオパーク
協議会さんの展示



企画展示室▶
猪苗代湖・裏磐梯湖沼
フォトコンテスト

企画展示「中村征夫写真展」を開催します！

写真家の中村征夫氏による写真展を開催します。

開催初日には中村氏による記念の講演会もありますのでぜひ、聞きに来てください！

写真展 五色沼湖沼群 日本の湖水地方 裏磐梯

場 所: 裏磐梯ビジターセンター 企画展示室

日 時: 前 期 7 月 21 日(月) ～8 月 9 日(土)

後 期 8 月 10 日(日) ～8 月 31 日(日)

入 場: 無料



講演会

場 所: 裏磐梯ビジターセンター レクチャールーム

日 時: 7 月 21 日(月) 13 時 30 分～15 時 00 分

参加費: 無料

定 員: 30名(要申込 先着順)

申 込: お電話・カウンターもしくは左の QRコードから



申込フォーム
QR

夏休みイベント

「クマの森を歩く前に～出会わないためのクマレクチャー」

近年ニュース等で取り上げられることの多いクマによる被害

裏磐梯も多くのツキノワグマが生息している地域のため、野外活動の際は被害にあわないように対策を講じる必要があります。ツキノワグマと出会わないように、もし出会ってしまったときに

被害にあわないように、多くの方が訪れる夏休み期間の土・日・祝日に、
裏磐梯ビジターセンターでレクチャーを行います。クマたちと上手に付き合っ、
クマが多く生息できるほどに豊かな、裏磐梯の自然を楽しみつくしましょう！！

場 所: 裏磐梯ビジターセンター内

日 時: 8月 1日～8月 31日の土日祝を予定

講 師: 裏磐梯地区パークボランティア、ビジターセンタースタッフ

参加費: 無料



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697
【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】<http://www.urabandai-vc.jp/>

裏磐梯だより 2025 年 7 月 No.130 【企画・発行】裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会



HP



X



Instagram

裏磐梯だより

No.130

2025 年 7 月



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



「サンカヨウ」

雨に濡れるなど、条件が整うと花弁が透明になるお花です。
その見た目から通称「スケルトンフラワー」なかなかスケルトン状態は見られないですが、この日（磐梯山の点検登山の日）は半透明のサンカヨウを見ることができました。詳細は内側の巡視日記をご覧ください！

裏磐梯図鑑 No.45

土用の丑の日 なに食べる？

自然解説員の巡視日記

磐梯山点検登山に参加しました（裏磐梯登山口）

ようこそビジターセンターへ

展示紹介 — 企画展示室 —